

令和4年11月12日開催 小田原市立病院市民公開講座アンケート質問の回答

質問内容	回答	回答者
<p>根治的放射線治療の場合、治療期間が長くなりますが、入院で実施されているのでしょうか？</p>	<p>・化学療法（抗癌剤）と併用する場合には内科に入院していただくこともありますが、放射線治療単独での治療の場合は、通院すること自体が可能であれば、入院しないで済みます。</p> <p>・当院呼吸器外科では術後放射線治療を施行する際、入院ではなく外来通院のみで施行しております。また呼吸器内科では根治的放射線治療や化学療法を合わせ行うこともありますが、こちらも基本的には外来での通院となります。また緩和的な放射線照射を行う際には通院困難な全身状態であることもありますので、その場合は入院で行うこともあります。</p>	<p>放射線科：雑賀担当部長  呼吸器外科：仁藤医長</p>
<p>放射線の副作用を減らすには、何か方法は、ありますか？</p>	<p>・放射線治療の副作用は照射された部位に一定の確率で起こりますので、予防は難しいのですが、症状を軽く済ます方法はいくつかあります。①放射線性皮膚炎は乾燥を避けたり、照射部位の皮膚への刺激を少なくしたりする、②放射線性食道炎はアルコールや熱いもの、硬いもの、辛いものなどの刺激物を避け、柔らかい食事内容にする、③晩期障害の肺炎は基本的に無菌性の肺炎ですが、細菌などの感染が合併すると重症化するので、人混みを避けるなどの感染対策をする、④晩期障害としての冠動脈狭窄は動脈硬化との関連も言われており、高血圧の管理をしっかり行う、など、重症化を避ける方法はあり、診察時にもそのようなアドバイスをさせていただいています。</p>	<p>放射線科：雑賀担当部長</p>
<p>90歳で心臓も悪いので、何かできることはあるのでしょうか？ 持病と高齢で手術はしない方が良いと言われたが、市立病院以外の治療を受けたい場合紹介はしてもらえるのでしょうか？</p>	<p>・手術は難しくても、放射線治療を行うことは可能です。肺癌の進行度により、根治的な治療から緩和的な治療まであります。根治的な定位放射線治療は当院では未だ出来ませんが、可能な病院に紹介いたしております。根治的な（化学）放射線治療や緩和的な治療は当院で行うことが可能です。</p> <p>・手術に限らず、いずれの治療方法も年齢だけでは判断できません。当院では病気の状態(病変の位置や大きさ、進行度)や全身の状態を実際外来で診させていただき、必要な検査を施行したのちに総合的に評価の上患者様の個々にあった治療方針をご提案しております。また、他院へのセカンドオピニオンや治療紹介などももちろん可能です。その際は遠慮無く申し出いただければ紹介状や画像情報等も提供致します。</p>	<p>放射線科：雑賀担当部長  呼吸器外科：仁藤医長</p>
<p>肺がんの診断の中で、低線量CTによる検診は小田原市立病院でもできるのでしょうか？</p>	<p>・当院では低線量CTによる検診は行っておりません。</p> <p>・当院では検診を行っていません。近隣に低線量CTが可能である施設もありますので、ご検討いただければ幸いです。</p>	<p>放射線科：雑賀担当部長  呼吸器外科：仁藤医長</p>